



かけはし

令和5年 9月 1日
東久留米市立第三小学校
校長 町田 元彦
学校ホームページ
<http://www.higashikurume-school101.jp/~dai3-e/>

教育目標 ○よく考える子 ○なかよくする子 ○元気のよい子

「コーチング」

校長 町田 元彦

長い夏休みが終わり、子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。今年は特に、酷暑や台風に翻弄される夏休みでしたが、登校してきた子供たちの様子を見ると、楽しく充実した夏休みを過ごした様子が伝わってきました。

夏休みには、女子サッカーワールドカップやバスケットボールワールドカップ、世界水泳、世界陸上、甲子園など、大きなスポーツイベントが数多く開催されました。声出し応援解禁での開催で、選手と観客が一体となって盛り上がる様子に、テレビを通して見ている私の心も自然と熱くなりました。

その中で、私が特に印象に残っているのが甲子園です。決勝は慶応と仙台育英の戦いとなり、慶応が107年ぶりに深紅の大優勝旗を持ち帰りました。慶応の森林監督は、「エンジョイ・ベースボール」をスローガンに掲げ、選手の主体性を伸ばす指導を重視してきたそうです。楽しそうに生き生きとプレーし、塁上で笑顔を見せながら「3本指ポーズ」でガッツポーズをする選手の姿が特に印象に残っています。

慶応の森林監督や仙台育英の須江監督を見ると、監督と選手の関係性の変化を感じます。一昔前までは、監督の指示に忠実に従わせるのが当たり前でした。しかし両校とも、選手が自分自身の考えを語り、監督もその声にしっかりと耳を傾けて相互にコミュニケーションをとりながら指導しているように見えます。選手個々に最適なコーチングを実践し、選手自らが考えながら競技に打ち込めるようにしている素晴らしい指導者だと思います。

数年前の研修会で、コーチングには以下のような3つの型があるということを知ることがあります。選手を子供に置き換えると、学校教育や家庭教育にも共通する部分が多いと感じます。

- ①専制（独裁）的コーチング…知識やスキルやノウハウを一方向的に教え込むコーチング
- ②放任（従順）的コーチング…何も教えず、選手に任せっきりのコーチング
- ③民主（協力）的コーチング…対話を大切にし、自らチャレンジするよう促すコーチング

パワハラや暴力指導の発覚が後を絶たない日本のスポーツ界には、現在も「専制的コーチング」が根強く残っているのかもしれませんが、しかし一方で、両校の監督のコーチングは言うまでもなく「民主的コーチング」であり、選手の意思を尊重して、潜在能力や可能性を信じ、自らチャレンジするよう促すことによって、選手の個々の能力やチームの力を飛躍的に伸ばしているのだと思います。

教室や家庭でも言えることですが、教師や親が険しい顔で「専制的コーチング」をしていると、子供は常に大人の顔色をうかがい、「また怒られるのではないか。」といったネガティブな考えにつながるが多くなります。しかし、私たち大人が子供たちに対し、両校の監督のように明るい笑顔や言葉を絶やさず、対話を通してポジティブな言葉を常に投げかける「民主的コーチング」をしていけば、子供たちの積極的な行動を生み出し、よさを引き出すことにつながるのではないのでしょうか。

「言葉が変われば心が変わる。心が変われば行動が変わる。」私たち教師は、常にこのことを念頭に置き、「専制的」や「放任的」ではない、「民主的コーチング」で子供たちを励まし、導いていきます。

2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

子供を交通事故から守りましょう！

「慣れた頃に交通事故が多い。」この言葉は、交通安全教室の時に指導していただいた田無警察署の方がおっしゃっていたものです。入学、新学期直後の緊張感をもっている4月に比べ、学校生活に慣れてきた頃の5月～7月頃に事故が多くなるそうです。新しい友達ができ行動範囲が広がる一方、交通ルールが十分に身に付いていないことが一因のようです。また、子供は興味があると、そのことに夢中になって周囲の状況が目に入らなくなり、危険なことの判断ができなくなることも原因です。

2学期が始まったこの時期に、改めて交通ルールについて話し合い、『道路には危険がいっぱい！』ということを指導したいと思います。御家庭でも話題にしてください。

子供の交通事故で多いのは

- 登下校時間帯となる7時～8時、14時～17時が多い
- 自宅付近での事故が多い
- 横断歩道

交通事故が多いのは、家の近くの道路のようです。安心感などからくる気の緩みで注意不足になっていることが原因です。



『交差点ではアイコンタクト』青信号で横断歩道を渡るときでも、必ず右と左の安全を確認させましょう。近くに車があるときには、運転手と目が合っているか確かめさせましょう。

すずかけ学級 4校合同交流会

6月26日（月）4校合同交流会が第七小学校で行われました。市内には、第三小すずかけ学級、第七小しらゆり学級、南町小ひまわり学級、神宝小わかば学級の4つの特別支援学級があります。

全体ではじめの会をしたあとに、低学年、中学年、高学年に分かれました。どのグループもはじめに自己紹介をし、担当の学校が司会進行し交流遊びをしました。すずかけ学級は、高学年の担当校だったので、事前に遊びを計画し、当日は遊びの説明をして会を進行しました。

2学期には、連合運動会にむけての4校合同交流会を行う予定です。今回の交流会で出会った友達とまた、一緒に活動するのが楽しみです。



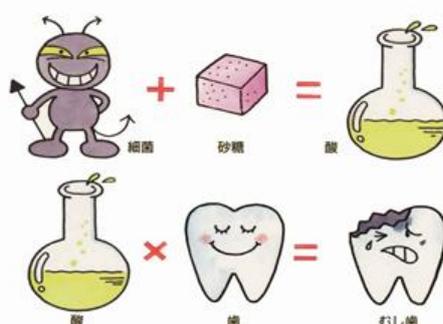
口腔衛生指導

3年生、6年生、すずかけ学級

7月4日(火)に、歯科衛生士さんと学校歯科校医の阿部先生をお招きして口腔衛生指導を行いました。歯と歯肉の健康を守るために、次の4点のことを子供たちに伝えました。

- ①甘いものをばかり食べたり飲んだりするのは避ける。
- ②おやつはだらだらせず、時間を決める。
- ③よく噛んで食べる。
- ④食べたら、歯をよく磨く。

また、歯こうがつきやすい歯と歯肉の境目、歯と歯の間、奥歯の溝の歯磨きの仕方を教わり、一人一人歯ブラシをもらい、歯磨きのコツを学びました。虫歯予防のために、御家庭でしっかり歯磨きできるとよいと思います。



5年生 お米の学校

5年生では、総合的な学習の時間にバケツ稲を育てる学習をしています。昨年度から、引き続き新潟県で農作物を育てている臼井さんを講師にお呼びして、学習を進めています。

1学期は3回来校して、教えていただきました。

1回目は、塩水に種もみを入れ良い種もみの選別をし、苗作りを行いました。2回目は、バケツに土や肥料を入れ水田に近い状態にしました。その中に自分で育てた苗を植えました。3回目は、稲の成長や葉の様子を観察し成長具合を点数化することで肥料の量を調節したり、稲の病害虫について教えてもらったりしました。

夏休みにも、みんなで水やりをして大切に育てました。米の花も咲き実ができてはじめています。これからも大切に育て、お米の育て方や成長について学習し、おいしいお米ができるようにお世話していきます。



臼井さんからのバケツ稲の説明



バケツの土作り後の田植え



夏休み中の水やり



9月

日	曜	行事等の予定 (学年)
1	金	始業式 短縮時程 登校指導①
2	土	
3	日	
4	月	全校朝会 給食始 発育測定 (6) 登校指導② 委員会⑤
5	火	発育測定 (5) 登校指導③
6	水	午前授業 集金日 登校指導④
7	木	午前授業 (6-2以外)
8	金	発育測定 (2) 掃除なし
9	土	
10	日	
11	月	安全指導 クラブ活動⑥
12	火	午前授業 (2-1以外)
13	水	午前授業 短縮時程
14	木	遠足 (5) 発育測定 (3)
15	金	なかよし班集会 発育測定 (4)
16	土	学校公開日 セーフティー教室
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	振替休業日
20	水	避難訓練 月曜時間割
21	木	遠足 (4)
22	金	セーフティー教室 (1, 2) 掃除なし 宿泊事前検診 (す)
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	全校朝会 宿泊学習始 (す)
26	火	
27	水	児童集会 小中連携の日 宿泊学習終 (す)
28	木	薬物乱用防止教室 (6)
29	金	禁煙キャラバンわくわく (4, 6) 工場見学 (3) 委員会⑥
30	土	

【職員の異動】 給食事務 8/28～
離任 富谷 麗子 (七小・十小の給食事務へ)
着任 熊井 早苗 (新規採用)

＜生活 目標＞明るくあいさつをしよう
＜保健 目標＞生活のリズムをととのえよう
けがに気をつけよう
＜給食 目標＞規則正しいリズムで丈夫な
体を作ろう

＜お願い＞

まだまだ暑い日が続きます。体育の授業等で汗もかき、体力も消耗することと思います。
お子様の体調管理に十分お気を付けください。

お知らせ

9月16日(土)は、学校公開日です。詳しい内容につきましては、後日学校からの通知にて御確認ください。

当日まで、夏休みの作品展を行っていますので学校公開の折に御覧ください。

集金について

2学期は、保護者会を行いません。集金につきましては9月6日(水)にお子さんに持たせてください。

集金袋は、事前に担任より配布いたします。金額等詳しいことにつきましては、学年便りで御確認ください。